

令和4年度 秋季中部バレーボール選手権大会実施上の
新型コロナウイルス感染症予防マニュアル(10月19日変更)

本マニュアルは、「令和4年度 静岡県中学校体育連盟 静岡県中学校総合体育大会実施上の新型コロナウイルス感染症予防ガイドライン」および、日本バレーボール協会による「JVA 大会運営ガイドライン 2022.04.22 更新版」等をふまえて、現段階で得られている知見に基づいて作成しています。今後の新型コロナウイルス感染状況などにより、随時見直すことがあり得ることにご留意ください。

【大会開催に当たっての基本的な考え方】

- 1 感染源を絶つ（参加者の健康管理）
- 2 感染防止の3つの基本
ア. 身体的距離の確保 イ. マスクの着用 ウ. 手洗いなどの徹底
- 3 3つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場面）の回避
- 4 安全な活動環境の確保

1. 感染源を絶つ（参加者の健康管理）

- (1) 本大会の関係者（大会役員、審判、チームスタッフ、選手）は、体調記録表（別紙2）もしくは、各学校で行われている健康観察カードなどを用いて、大会開始2週間前からの記録を行い、健康管理を徹底する。
- (2) チームスタッフは、大会当日受付時に、参加者（選手・チームスタッフ・保護者）の同行者体調記録表（別紙2）を提出する。体調記録表などに、風邪の症状などが認められる選手やチームスタッフ等は、原則参加させないが、医師の判断で参加することができる。
インフルエンザの罹患については、発症後5日・解熱後2日が経過していることを確認すること。
- (3) 大会本部は、同意書を提出した者以外の来場者（大会役員など）に対して、来場者体調記録表（別紙4）の記入を徹底する。
- (4) チームスタッフ等は、集合時、更衣時、ウォーミングアップ終了後、試合前後、昼食時、解散時等、こまめに選手の体調不良の有無を確認する声かけを行うなど、集合時から解散時まで選手の健康観察を徹底する。
- (5) 大会本部及び、チームスタッフ等は、大会中に選手などの体調不良を確認した場合、医療機関や保護者等と連携し、安全に帰宅させるなどの対策を講じる。

2. 感染防止の3つの基本

ア 身体的距離の確保

- (1) 開・閉会式は実施しない。
- (2) 試合開始および終了時のあいさつは、エンドライン上で行い、握手はしない。
- (3) 出場校は、仲間と手をつなぐ行為や、円陣やハイタッチを行わない。
- (4) 試合が終了し、補助役員等が終了したチームは、速やかに会場を離れるようにすること。

イ マスクの着用

- (1) 大会関係者（大会役員、審判員、チームスタッフ、選手）および来場者は、各自マスクを準備し、プレー中ならびに昼食時等をのぞいて、原則マスクを着用して参加する。
- (2) 試合に臨む際の選手及びチームスタッフのマスク着用については、以下の通りとする。
 - ① 試合に臨むすべての選手は、合同練習開始から試合終了まで、マスクを外しても良い。
ただし、それ以外は着用する。（合同練習前のアップはマスクを着用して行うこと。）
 - ② チームスタッフは、試合中においてもマスクを着用する。
- (3) マスクを着用していても、声をそろえての応援や練習は行わないこととする。（選手・スタッフ・観戦者）

ウ 手洗いなどの徹底

- (1) 大会本部において、こまめな手洗い消毒が行えるよう、利用施設と連携して石けんや消毒液等を設置する。出場校は各自消毒液等を持参し、感染防止に努める。
- (2) チームスタッフ等は、こまめに流水と石けんて手洗いを行うとともに、消毒液等を用いて感染防止に努めるよう、選手に指導する。
- (3) ベンチ及び観戦席に消毒液を配置し、自由に使用できるようにする。

3 3つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場面）の回避

- (1) 今大会において、大会会場（敷地内）に入場できるのは、以下の通りとする。
 - ① 選手は、参加申込書に記載された登録選手とし、参加人数は静岡県の感染症状況によって決定する。（5警戒レベルに応じた対応 参照）
選手についてはユニフォーム及びチームで統一した服装にて判断するので、チームスタッフの責任で人数について徹底すること。大会本部で不明な点が生じた場合は、チームスタッフに問い合わせ、適切な対応を求める。

- ② チームスタッフは、監督・コーチ・マネージャーの最大3名とする。(マネージャーは生徒でも可。) また、チームスタッフ以外に学校代表1名の入場(大会本部席)を許可する。
 - ③ 保護者の観戦人数は静岡県の感染症状況によって決定する。(5警戒レベルに応じた対応 参照) 保護者及びチームスタッフは、IDカードをつけた者のみフロア(観客席)に入場することができる。IDカードはHPにアップされたデータをもとに、各校顧問が準備すること。
 - ④ その他:主・副審、大会運営役員、報道関係者等(若干名)大会役員についても、当日本部にて配付するIDカードを身につけること。
- (2) 更衣室の利用は短時間とし、密集場면을極力避けること。また、更衣室内でのミーティングは行わないこと。なお、更衣室への保護者の入場は、許可しない。
- (3) チームスタッフは各会場の指定された場所で観戦すること。
- (4) ベンチならびに応援席についても、距離を取ってイスを配置するなど密集することのないように配慮する。

4 安全な活動環境の確保

- (1) 本大会の関係者(大会役員、審判、チームスタッフ、選手、観戦する保護者)は、大会開始2週間前からの体調を体調記録表(別紙2または、各学校で使用している体調記録表)に記録する。
- (2) 大会本部は、参加校に対し大会の主旨、感染拡大予防マニュアルを周知徹底する。
- 参加校は感染症対策マニュアルを熟読の上、参加生徒の健康面を踏まえ、大会参加の可否を判断する。学校長が大会申込書に押印し、大会本部に提出すること。
- チームスタッフは、大会に参加する選手及び保護者に対し、参加に当たっての注意事項等を事前に説明し、同意書(別紙1)を提出させる。
- (3) 選手の体調不良や救急搬送等の事態が発生し、保護者の同意や意見聴取などが求められることも想定し、チームスタッフや学校等と保護者が確実に、速やかに連絡が取れる体制を整えておくこと。

5 警戒レベルに応じた対応

(1) 静岡県の感染症状況に応じて以下のような対応をとる。

静岡県における 感染状況の国評価レベルなど	選手数	観客（保護者）数
レベル1	制限なし	12名以下
レベル2	18名以下	6名以下
レベル3または まん延防止等重点措置や 緊急事態宣言の発出	大会中止	

会場校の実情に応じて、会場ごとに選手数や観客数を減らすことがある。

10月28日（金）静岡県の感染症状況の更新時点で上記の規準に照らし合わせて判断する。

大会中止を判断した後、警戒レベルが下がったとしても、中止の判断は変えないが、大会期間中にレベルが引き上げられた場合は、その時点で観客数の変更や大会中止をする。